

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：救命救急医療基礎習得プログラム

病院名：災害医療センター

2. 診療科：救命救急科

3. コースの概要

フェローシップ期間中（3-6 ヶ月間）、救命救急科に所属する。救急搬送患者の初期診療を行うとともに、チーム医療の一員として受け持ち患者の診療を行う。当直は月5回程度行う。上級医の指導の下、多くの実践経験を積みながら救急医療の基礎を学ぶ。

4. 目標

フェローシップ期間内に、主に日本救急医学会救急科専門医取得に必要な疾患治療および手技を経験する。

5. 取得手技

救急医学の専門知識と幅広い臨床能力を取得し、医師としての全人的な育成を行う。救急科専門医を目指す医師以外においても救急医療の基礎を習得する。

6. 研修期間

3～6 ヶ月間

7. 募集人数

応談（事前に救命救急科部長が面談を行い、各自に適したプログラムを作成する。）

8. 診療科の実績

主要疾患	入院数（年間）
病院外心停止	430
重症外傷	161
重症脳血管障害	143
重症急性冠症候群	95
その他の重症病態	89

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 16 名

指導責任医師 長谷川栄寿（救命救急センター部長 経験年数 27 年）

指導医 井上和茂（救命科医長/15 年）
菱川 剛（救命科医長/20 年）
米山久詞（救命科医長/18 年）
永澤宏一（救命科医長/13 年）
高田浩明（救命科医長/14 年）

10. コンセプト

当院救命救急センターは我が国有数の 3 次医療機関です。救命救急科がファーストタッチを行い、全身の病態評価とバイタルサインの安定化を図ります。

多発外傷、中毒、急性腹症、敗血症等は救命救急科が引き続き診療を行い、手術治療を含め原則退院まで診療を継続します。その他、脳外科領域は脳外科、心大血管系は循環器科、心臓外科に依頼し継続加療を行います。

11. その他（研修関連情報など）

フェローシップ期間中に救急疾患において他科での手術、処置、検査の研修を希望する者には考慮します。共通領域研修について院内開催の卒後教育研修や院外セミナー・研修・講演会に自由に参加出来ます。